

II 流域下水道事業

流域下水道事業は、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質の保全に資するため、大東川処理区及び金倉川処理区の2処理区からなる中讃流域下水道を設置しており、中讃地区3市5町の流域関連公共下水道より汚水を受入れ、県内2か所の浄化センターにおいて汚水処理を行っています。

今回は、令和4年10月1日から令和5年3月31日までの間(以下「令和4年度下半期」という。)における流域下水道事業の概況、予算、経理の状況及び令和5年度の予算の概要などについてお知らせします。

1 事業の概況

令和4年度下半期における流域関連公共下水道からの流入汚水量は、5,192,619 m³ (日量28,531 m³)で、前年度同期の流入汚水量5,254,025 m³ (日量28,868 m³)に比べ、61,406 m³ (日量337 m³)、1.2%の減となっています。

なお、各処理区の月別流入汚水量の比較は第1表のとおりです。

第1表 令和4年度・令和3年度下半期流入汚水量

(単位：m³、%)

別 区分	月							計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
令和 4 年度	大東川処理区	526,004	509,921	529,500	511,717	467,840	519,023	3,064,005
	金倉川処理区	367,669	356,044	369,985	354,262	318,913	361,741	2,128,614
	計	893,673	865,965	899,485	865,979	786,753	880,764	5,192,619
令和 3 年度	大東川処理区	520,925	516,895	538,922	508,096	470,642	508,987	3,064,467
	金倉川処理区	372,808	374,603	392,782	363,243	320,932	365,190	2,189,558
	計	893,733	891,498	931,704	871,339	791,574	874,177	5,254,025
差 引	大東川処理区	5,079	△ 6,974	△ 9,422	3,621	△ 2,802	10,036	△ 462
	金倉川処理区	△ 5,139	△ 18,559	△ 22,797	△ 8,981	△ 2,019	△ 3,449	△ 60,944
	計	△ 60	△ 25,533	△ 32,219	△ 5,360	△ 4,821	6,587	△ 61,406
	増減率	△ 0.0	△ 2.9	△ 3.5	△ 0.6	△ 0.6	0.8	△ 1.2

2 経理の状況

令和4年度における収入及び支出の状況は第2表のとおりです。

第2表 令和4年度流域下水道事業会計経理状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	前年度からの繰越額B	計 (A+B) C	執 行 (見込)額D	比 率 D / C
収 入	流域下水道事業収益	1,921,066	—	1,921,066	1,924,192	100.2
	営業収益	722,895	—	722,895	722,896	100.0
	営業外収益	1,198,171	—	1,198,171	1,201,296	100.3
	特別利益	0	—	0	0	—
支 出	流域下水道事業費用	1,957,087	—	1,957,087	1,926,758	98.5
	営業費用	1,918,606	—	1,918,606	1,888,278	98.4
	営業外費用	38,481	—	38,481	38,480	100.0
	特別損失	0	—	0	0	—

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	前年度からの繰越額B	計 (A+B) C	執 行 (見込)額D	比 率 D / C
収 入	資本的収入	699,720	554,657	1,254,377	564,157	45.0
	企業債	174,000	117,000	291,000	155,000	53.3
	国庫補助金	324,832	335,972	660,804	216,628	32.8
	建設負担金	188,270	101,685	289,955	179,913	62.0
	他会計補助金	12,618	0	12,618	12,616	100.0
支 出	資本的支出	944,340	578,053	1,522,393	715,063	47.0
	建設改良費	699,720	578,053	1,277,773	470,444	36.8
	固定資産購入費	710	0	710	710	100.0
	企業債償還金	243,910	0	243,910	243,909	100.0

3 令和5年度当初予算の概要

令和5年度における収益的収入及び支出の予算額は、事業収益21億7,489万円に対し、事業費用21億7,057万円であり、収益的収支は432万円の黒字となっています。

次に、資本的収入及び支出については、支出10億428万円を予定しており、建設改良事業として7億7160万円をもって幹線管渠改築工事、浄化センター設備改築工事等を行うこととしています。

予算の概要は、第3表のとおりです。

第3表 令和5年度流域下水道事業会計予算

(1) 収益的収入及び支出 (単位：千円、%)

区分	科 目	令和5年度 当初予算額 A	令和4年度 当初予算額 B	増減額 (A - B) C	増減率 C / B
収 入	流域下水道事業収益	2,174,894	1,994,847	180,047	9.0
	営業収益	1,055,677	764,569	291,108	38.1
	営業外収益	1,119,217	1,230,278	△111,061	△9.0
	特別利益	0	0	0	0.0
支 出	流域下水道事業費用	2,170,570	1,994,847	175,723	8.8
	営業費用	2,135,746	1,955,811	179,935	9.2
	営業外費用	34,824	39,036	△4,212	△10.8
	特別損失	0	0	0	0.0

(2) 資本的収入及び支出 (単位：千円、%)

区分	科 目	令和5年度 当初予算額 A	令和4年度 当初予算額 B	増減額 (A - B) C	増減率 C / B
収 入	資本的収入	771,600	712,400	59,200	8.3
	企業債	186,500	168,000	18,500	11.0
	国庫補助金	369,166	350,500	18,666	5.3
	建設負担金	202,177	181,903	20,274	11.1
	他会計補助金	13,757	11,997	1,760	14.7
支 出	資本的支出	1,004,275	957,145	47,130	4.9
	建設改良費	771,600	712,400	59,200	8.3
	固定資産購入費	1,211	835	376	45.0
	企業債償還金	231,464	243,910	△12,446	△5.1

4 事業の経営方針について

流域下水道事業を取巻く経営環境は、人口減少に伴う流入汚水量の減少や、設備の老朽化に伴う更新需要の増大等により、今後、厳しさを増すことが予想されています。こうした中で、引き続き安定したサービスを提供していくためには、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化や経営健全化を行う必要があります。

そこで、流域下水道事業では、経営状況や資産等を正確に把握するため、令和2年4月から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計に移行しています。

また、中長期的な視点から経営基盤の強化に取り組むため、「経営戦略」について令和5年3月に改定し、計画期間を令和4年度から13年度までの10年間にするなど変更を行いました。

経営戦略の基本方針

(1) 健康で快適な生活環境の提供

下水道の普及促進に取り組むとともに、下水道施設の適切な維持管理を行い、良好な放流水の水質を維持することで、都市の健全な発達、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図ります。

(2) 安定した事業運営

長期的な視野に立ち、優先度や事業費の平準化を踏まえた施設の点検整備及び改築更新を行うとともに、災害への備えを進めることで、安定的な事業運営を行います。

(3) 効率性の追求

人口減少を踏まえ、関係機関とも連携して事業運営の効率化を図ります。また、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入、資源の有効活用等により、経費削減及び環境負荷の低減を図ります。

(4) 経営基盤の強化

長期的な視野に立ち、人材の確保、育成及び技術継承を行うことで組織体制の維持、強化を図るとともに、財政マネジメントの向上を図り、経営基盤を強化します。